

木更津市食育推進アクションプラン進行管理票 (令和6年度)

木更津市食育計画のキャッチフレーズ
～いきる つながる 食育のチカラ～

【食育推進アクションプラン取組評価（令和6年度）・取組計画（令和7年度）】

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の取組結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	①妊娠期の食育の推進	健康推進課	妊娠をきっかけにして、望ましい食生活について、知ることができる	1	新規	妊娠中期(妊娠16週から27週)の妊婦に、マタニティ講座を実施し、栄養管理の必要性の理解と動機づけを図ります。 実施回数 現状：年11回 目標：年12回	月1回実施のマタニティ講座（前編）にて、妊娠期の栄養管理について妊婦に講話を実施しました。 実施回数：年12回	A	目標回数を達成	マタニティ講座（前編）にて引き続き実施し、望ましい食生活について周知します。	妊娠中期(妊娠16週から27週)の妊婦に、マタニティ講座を実施し、栄養管理の必要性の理解と動機づけを図ります。 実施回数 現状：年12回 目標：年12回
					2	継続	母子健康手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターによる個別指導を実施します。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 現状：76% 目標：93%	母子保健コーディネーターによる個別指導を実施しました。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 75.8%(201人)	B	目標の82%を達成	個別指導の内容を平準化し、対象者に必要な情報が伝わるよう努めます。	母子健康手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターによる個別指導を実施します。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 現状：75.8% 目標：94%
					3	継続	妊娠期の歯周病予防が早産や低体重児の発症リスク軽減に関連していることから、妊婦歯科健康診査（妊娠期間中に1回無料で協力歯科医療機関で受けられる歯科健診）を実施します。また、引き続き、受診率向上に向けて市公式SNSを活用した受診勧奨を実施します。 受診率 現状：34.5% 目標：38.5%	市内47協力歯科医療機関において、妊婦を対象とした個別歯科健診を実施しました。また、受診率向上に向けて、市公式SNSや広報紙を活用した受診勧奨を実施しました。 受診率：37.0%（343人）	B	目標の96%を達成	健診の認知度を高め、受診の必要性を感じる人を増やすことができるよう更なる周知に努めます。	妊娠期の歯周病予防が早産や低体重児の発症リスク軽減に関連していることから、妊婦歯科健康診査（妊娠期間中に1回無料で協力歯科医療機関で受けられる歯科健診）を実施します。また、引き続き、受診率向上に向けて市公式SNSを活用した受診勧奨を実施します。 受診率 現状：37.0% 目標：39.0%
		②乳幼児期の食育の推進		食事の基礎作りの推進	4	継続	乳児健康診査（4か月児）を受診した保護者のうち対象者に対して離乳食講習を実施し、離乳食の目的や進め方などについて伝えます。 実施率 現状：100% 目標：100%	第1子は全員、第2子以降は希望する保護者を対象に離乳食講習を実施し、離乳食の目的や進め方などについて保護者へ伝えました。 実施率：99.4%（512人）	B	目標の99.4%を達成 対象者のうち実施できなかった3名は、当日の保護者都合によるもので、後日の電話も3回不通だったため。	食事の基礎作りが推進されるよう、離乳食講習の内容検討と、引き続き当日都合の悪い保護者については後日のフォローにて全数実施に努めます。	乳児健康診査（4か月児）を受診した保護者のうち対象者に対して離乳食講習を実施し、離乳食の目的や進め方などについて伝えます。 実施率 現状：99.4% 目標：100%
					5	継続	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.6% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に個別栄養指導を実施しました。 実施率：1.6歳児健診 99.9%（869人） 3歳児健診 99.8%（988人）	B	目標の99%を達成	対象者の帰宅時間等の都合により受けられず目標達成までは至らなかったが、電話でフォローする等、柔軟に対応できる体制をとり、実施していきます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.9% 3歳児健診 99.8% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%
					6	継続	産後の口腔衛生状態が、こどものむし歯発症リスク軽減と関連していることから、乳児（1歳未満）をもつ母を対象に、お子さんが1歳になるまでの間に1回無料で協力歯科医療機関で受けられる産婦歯科健康診査を実施します。また、引き続き、更なる受診率向上に向けて市公式SNSを活用した受診勧奨を実施します。 受診率 現状：26.4% 目標：27.0%以上	市内47協力歯科医療機関において、産婦を対象とした個別歯科健診を実施しました。また、受診率向上に向けて市公式SNSや広報紙を活用した受診勧奨を実施しました。 受診率：29.4%（250人）	A	目標の受診率を達成	健診の認知度を高め、受診の必要性を感じる人を増やすことができるよう更なる周知に努めます。	産後の口腔衛生状態が、こどものむし歯発症リスク軽減と関連していることから、乳児（1歳未満）をもつ母を対象に、お子さんが1歳になるまでの間に1回無料で協力歯科医療機関で受けられる産婦歯科健康診査を実施します。また、引き続き、更なる受診率向上に向けて市公式SNSを活用した受診勧奨を実施します。 受診率 現状：29.4% 目標：27.0%以上

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の取組結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標	
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）											
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	②乳幼児期の食育の推進	健康推進課	3歳児歯科健康診査時にかかりつけ歯科医を持っている児の増加に向けた取り組みの推進	7	継続	幼児期からかかりつけ歯科医を持つことができるよう、1歳6か月児健康診査の歯科保健指導にてその必要性を伝えていきます。 現状：100% 目標：100%	1歳6か月児健康診査の歯科保健指導にて、かかりつけ歯科医を持つことの必要性に関する資料を作成・配付し、歯科衛生士から保護者へ直接伝えることができました。 指導実施率：100%（865人）	A	目標を達成	引き続き、歯科保健指導を通して、その必要性を伝えていきます。	幼児期からかかりつけ歯科医を持つことができるよう、1歳6か月児健康診査の歯科保健指導にて、かかりつけ歯科医を持つことの必要性に関する資料を作成・配付し、歯科衛生士から保護者へ直接伝えていきます。 現状：100% 目標：100%	
				巡回口腔衛生指導実施園数の増加または維持	8	継続	歯の健康づくりの基盤作りのため、市内の保育園・幼稚園を対象に園児（3・4・5歳児）に巡回口腔衛生指導を実施します。また、引き続き、感染症流行に対し柔軟な対応をとります。 実施施設数 現状：保育園16園・幼稚園11園 27園（1,754人） 目標：保育園16園・幼稚園12園 28園（2,200人）	市内の保育園・幼稚園を対象に園児（3・4・5歳児）に巡回口腔衛生指導を実施しました。感染症の流行に対し不安がある園には資料配布を行うなど柔軟な対応を行いました。 実施施設数 保育園16園・幼稚園11園 27園（1,701人）	B	目標の96%の達成	実施の困難な園があったため、引き続き、柔軟に対応していきます。	歯の健康づくりの基盤作りのため、市内の保育園・幼稚園を対象に園児（3・4・5歳児）に巡回口腔衛生指導を実施します。また、引き続き、園の状況に合わせて柔軟な対応をとっていきます。 実施施設数 現状：保育園16園・幼稚園11園 27園（1,701人） 目標：保育園16園・幼稚園12園 28園（2,200人）	
				お口の機能発達動画の閲覧数の増加	9	拡大	各教室や各健康教育等で、市ホームページ掲載の口腔機能の発達に関する資料や動画を周知し、多くの人に視聴してもらえるよう促します。 視聴回数 現状：入門編628回、実践編①490回、実践編②369回 目標：入門編870回、実践編①660回、実践編②510回	乳児健診や7か月児教室の対象者へ、口腔機能の発達に関する資料および動画を周知することで、知識の普及啓発を行いました。 視聴回数（R4からの累計） 入門編784回、実践編①682回、実践編②483回	B	最も低い入門編の視聴回数が目標の90%の達成状況であり、昨年度よりも視聴回数を伸ばすことができた。今後、今後も更なる周知を続けていく必要がある。	各教室や各健康教育等で、市ホームページ掲載の口腔機能の発達に関する資料や動画を周知し、多くの人に視聴してもらえるよう促します。 視聴回数 現状：入門編784回、実践編①682回、実践編②483回 目標：入門編1,020回、実践編①900回、実践編②630回		
		子ども家庭支援課	保護者が食育の大切さについて知り、家庭でも取り組む	10	新規	地域子育て支援施設の利用者に、子育てについての相談や離乳食・幼児食についての情報提供、助言を行うとともに、チラシの配布等食育に関する啓発を行います。 啓発人数 現状：1,840組 目標：1,900組	わかば子育て支援センターで、子育てについての情報提供、助言を行うとともに、食育に関する啓発を行いました。 啓発人数：1,820組	B	目標の96%を達成	食育日より、対話や啓発等の機会の増加を図ります。	地域子育て支援施設の利用者に、子育てについての相談や離乳食・幼児食についての情報提供、助言を行うとともに、チラシの配布等食育に関する啓発を行います。 啓発人数 現状：1,820組 目標：2,000組		
			③学童期の食育の推進	健康推進課	巡回口腔衛生指導実施校数の維持	11	継続	自身でむし歯や歯周病が予防できるよう知識の普及啓発のため、市立小学校の児童（各校4・5年生のいずれかの学年と希望学年）を対象に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施学校数 現状：小学校18校 1,263人 目標：小学校18校 1,900人	市立小学校の児童（各校4・5年生のいずれかの学年と希望学年）を対象に巡回口腔衛生指導を実施しました。 実施学校数：小学校18校 1,166人	A	目標校数を達成	引き続き全小学校で実施していきます。	自身でむし歯や歯周病が予防できるよう知識の普及啓発のため、市立小学校の児童（各校4・5年生のいずれかの学年と希望学年）を対象に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施学校数 現状：小学校18校 1,166人 目標：小学校18校 1,900人
					フッ化物洗口実施校数の増加	12	拡大	永久歯のむし歯予防を目的に、フッ化物洗口（週1回小学校（1～6年生の希望者）でフッ化物溶液を用いてブクブクうがいをする）を実施します。また、学校が実施しやすい体制を構築できるよう努め、実施校数を増やしていきます。 実施学校数 現状：小学校6校 1,055人 目標：小学校18校 4,050人	永久歯のむし歯予防を目的としたフッ化物洗口を昨年度より実施校数を増やし実施することができました。 実施学校数：小学校10校 2,823人	C	目標には至りませんでした。が、昨年度より実施校数を増やすことができ、コロナ流行前の実施校数に戻すことができました。今後、各学校の状況を勘案し、進めていく必要があります。	実施校数の増加に向けて、関係機関との連携を深め、学校で実施しやすい体制を構築していきます。	永久歯のむし歯予防を目的に、フッ化物洗口（週1回小学校（1～6年生の希望者）でフッ化物溶液を用いてブクブクうがいをする）を実施します。また、学校が実施しやすい体制を構築できるよう努め、実施校数を増やしていきます。 実施学校数 現状：小学校10校 2,823人 目標：小学校18校 4,710人

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の実績結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	③学童期の食育の推進	学校教育課	各小中学校において、計画的な食育の推進	13	拡大	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：全小中学校30校 目標：全小中学校30校	全小中学校が作成・実施しました。 実施校数：全小中学校30校 (全小学校18校) (全中学校12校)	A	目標校数を達成	引き続き、全小中学校で実施していきます。	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：全小中学校30校 目標：全小中学校30校
			学校給食センター 学校給食課	地産地消の食材を取り入れた献立の充実	14	継続	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食日よりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：74.2% 目標：85%以上	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食日よりや掲示物等を活用し情報発信しました。 地元生産食材使用率：71.2%	B	天候等により予定していた産地の食材が納品できないことがあったものの、各施設ごとに可能な限り地産地消に取り組んだ。	協力関係者と連携し、市場の流通状況や産地情報を意識した献立作成に取り組む。	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食日よりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：71.2% 目標：85%以上
			環境政策課	地元生産品の地域内消費の促進	15	拡大	引き続き、地産地消の推進を行うためエコノートの配布を行うとともに、関心度が高くなるような働きかけを行っていきます。 取組率 現状：60% 目標：84%	夏休み前に市立小学5年生全員にエコノートを配布しました。配布後に行ったアンケートでは、「エコノートを見て何かに取り組んだ」と回答した児童の割合は59%でした。 取組率：59%	C	現状の取組率よりも低い結果となりました。エコノートの取組については学校や先生毎の指導の影響により取り組みへの関心度が大きく異なります。	環境政策課より、学校側へ関心度を大きくしてもらえるような案内等を行うなど、関心度が高くなるような働きかけを行っていきます。	引き続き、地産地消の推進を行うためエコノートの配布を行うとともに、環境教育について包括連携事業者等と協力し、出前講座の案内を行うなど、関心度が高くなるような働きかけを行っていきます。 取組率 現状：59% 目標：87%
		④思春期の食育の推進	健康推進課	巡回口腔衛生指導 実施校数の維持	16	継続	自身でむし歯や歯周病が予防できるよう知識の普及啓発のため、全市立中学校の生徒（学校希望学年）を対象に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施学校数 現状：中学校12校 1,168人 目標：中学校12校 1,100人	全市立中学校の生徒（学校希望学年）を対象に巡回口腔衛生指導を実施しました。 実施学校数：中学校12校 1,114人	A	目標校数を達成	引き続き全市立中学校で実施していきます。	自身でむし歯や歯周病が予防できるよう知識の普及啓発のため、全市立中学校の生徒（学校希望学年）を対象に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施学校数 現状：中学校12校 1,114人 目標：中学校12校 1,100人
				フッ化物洗口実施 校数の増加	17	拡大	永久歯のむし歯予防を目的に、フッ化物洗口（週1回中学校（1～3年生の希望者）でフッ化物溶液を用いてブクブクうがいをする）を実施します。 実施学校数 現状：中学校3校 224人 目標：中学校3校 235人	昨年度に引き続き、永久歯のむし歯予防を目的としたフッ化物洗口を実施することができました。 実施学校数 中学校3校 256人	A	目標校数を達成	引き続き、フッ化物洗口を実施していきます。	永久歯のむし歯予防を目的に、フッ化物洗口（週1回中学校（1～3年生の希望者）でフッ化物溶液を用いてブクブクうがいをする）を実施します。 実施学校数 現状：中学校3校 256人 目標：中学校5校 490人
			学校教育課	各小中学校において、計画的な食育の推進	13	拡大	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：全小中学校30校 目標：全小中学校30校	全小中学校が作成・実施しました。 実施校数 全小中学校30校 (全小学校18校) (全中学校12校)	A	目標校数を達成	引き続き、全小中学校で実施していきます。	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：全小中学校30校 目標：全小中学校30校
		⑤青年期の食育の推進	健康推進課	市広報誌やSNS等を活用した食育に関する情報の提供	18	継続	広報誌や市公式SNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年8回 目標：10回以上	広報誌、市公式SNSで食の情報を発信しました。 情報発信回数：年10回	A	目標回数を達成	年間計画を作成し、情報発信に努めます。	広報誌や市公式SNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年10回 目標：年10回以上
				からだづくりや生活習慣病の発症・重症化予防のため、望ましい食生活についての理解・実践の推進	19	継続	単純肥満および腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率 現状：99.2% 目標：95%以上	若年期健康診査後に、対象者に保健指導を実施しました。 実施率：94.4%（153人）	B	目標の99.4%を達成。 令和5年度より実施人数は30名増加したが、対象者数も増加したため、実施率は低下した。マンパワーが課題である。	対象者の増加を踏まえ、指導方法の変更などを検討します。	単純肥満および腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率 現状：94.4% 目標：95%以上

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の取組結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	⑤青年期の食育の推進	健康推進課	適切な口腔ケアの定着に向けた取り組みの推進	20	継続	歯周病が重症化する前の青年期に向けた歯周病対策として、若年期健康診査受診者を対象とした歯周病予防に関するチラシ配布を実施し、自身で適切な口腔ケアが行えるよう知識の普及を行います。 現状：100% 目標：100%	若年期健康診査受診者を対象とした歯周病予防に関するチラシ配布を実施し、自身で適切な口腔ケアが行えるよう知識の普及を行いました。 実施率：100%(859人)	A	目標を達成	継続して実施し、知識の普及啓発を行います。	歯周病が重症化する前の青年期に向けた歯周病対策として、若年期健康診査受診者を対象とした歯周病予防に関するチラシ配布を実施し、自身で適切な口腔ケアが行えるよう知識の普及を行います。 現状：100% 目標：100%
			生涯学習課 公 民 館	市民が安全・安心な食品を選択することができるよう啓発	21	拡大	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で手作りの大切さを学ぶ講座を開催し、更に啓発に努めます。 講座開催数 現状：17回（参加者205人） 目標：30回（参加者450人）	青少年対象「料理教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」等、手作りの大切さを学ぶ講座を開催しました。 実施回数：27回（参加者数：460人）	B	各公民館において、啓発を実施することはできましたが、地域ニーズと合わない館もあり、講座開催の目標回数には届きませんでした。が、参加人数は目標を達成しました。	各公民館で地域と相談しながら、必要に応じて料理教室等を実施するよう努めます。	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で手作りの大切さを学ぶ講座を開催し、更に啓発に努めます。 講座開催数 現状：27回（参加者460人） 目標：30回（参加者450人）
		⑥壮年期の食育の推進	健康推進課	からだづくりや生活習慣病の発症・重症化予防のため、望ましい食生活についての理解・実践の推進	22	継続	からだづくりや生活習慣病の合併症予防および重症化予防を目的として、食生活改善のための情報を市広報誌やSNS等で発信していきます。 配信回数 現状：年1回 目標：年8回以上	年間計画を作成し、市公式SNSで食の情報を発信しました。 情報発信回数：年8回	A	目標回数を達成	年間計画を作成し、情報発信に努めます。	からだづくりや生活習慣病の合併症予防および重症化予防を目的として、食生活改善のための情報を市広報誌やSNS等で発信していきます。 配信回数 現状：年8回 目標：年8回以上
				不自由なく咀嚼できる者の割合の増加に向けた取り組みの推進	23	拡大	歯や口の疾患（むし歯や歯周病等）予防に関する知識や口腔機能に関する知識を普及啓発するため、健康教育を実施します。 健康教育実施回数 現状：年2回 目標：年2回以上	歯や口の疾患（むし歯や歯周病等）予防に関する知識や口腔機能に関する知識を普及啓発するため、健康教育を実施しました。 健康教育実施回数：年2回	A	目標を達成	継続して実施し、知識の普及啓発を行います。	歯や口の疾患（むし歯や歯周病等）予防に関する知識や口腔機能に関する知識を普及啓発するため、健康教育を実施します。 健康教育実施回数 現状：年2回 目標：年2回以上
			生涯学習課 公 民 館	広く市民への情報提供	24	拡大	市内全ての公民館で、公民館だより等に郷土料理の特集を組むなど積極的に掲載するとともに、文化祭では伝統食や和食、郷土料理に関する展示コーナーを設け、情報提供に努めます。 情報発信回数 現状：年9回 目標：年1回以上	3つの公民館において、公民館だより等に地産地消の料理メニューについての掲載を行いました。 情報発信回数：年7回	C	市内全ての公民館での十分な情報発信ができませんでした。	市内全ての公民館で、郷土料理等に親しみが持てるような情報提供ができるように努めます。	市内全ての公民館で、公民館だより等に郷土料理の特集を組むなど積極的に掲載するとともに、文化祭では伝統食や和食、郷土料理に関する展示コーナーを設け、情報提供に努めます。 情報発信回数 現状：年7回 目標：年1回以上
		⑦高齢期の食育の推進	健康推進課	加齢に伴う身体の変化・体力の低下に応じた食生活の実践の推進	25	新規	介護予防を視野に入れ、公民館等の健康教室等の参加者への講話等で栄養指導を実施します。 実施回数 現状：年20回 目標：年20回以上	公民館等の健康教室等で栄養指導を実施しました。 実施回数：年36回	A	目標を達成	継続して栄養指導を実施します。	介護予防を視野に入れ、公民館等の健康教室等の参加者への講話等で栄養指導を実施します。 実施回数 現状：年36回 目標：年30回以上
				不自由なく咀嚼できる者の割合の増加に向けた取り組みの推進	26	拡大	歯や口の疾患（むし歯や歯周病等）予防に関する知識や口腔機能に関する知識を普及啓発するため、健康教育を実施します。 健康教育実施回数 現状：年4回 目標：年4回以上	歯や口の疾患（むし歯や歯周病等）予防に関する知識や口腔機能に関する知識を普及啓発するため、健康教育を実施しました。 健康教育実施回数：年8回	A	目標を達成	継続して実施し、知識の普及啓発を行います。	歯や口の疾患（むし歯や歯周病等）予防に関する知識や口腔機能に関する知識を普及啓発するため、健康教育を実施します。 健康教育実施回数 現状：年8回 目標：年10回以上

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の実績結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	⑦高齢期の食育の推進	高齢者福祉課	高齢者の口腔機能の向上	27	継続	口腔機能の向上のため、歯科衛生士を高齢者サロン等へ派遣し、口腔機能向上講話等を実施します。 実施回数 現状：年27回 目標：年30回	口腔機能の向上のため、歯科衛生士を高齢者サロン等へ派遣し、口腔機能向上講話等を実施しました。 実施回数：年30回	A	目標回数を達成	歯科衛生士と講義の内容や資料等の見直しをし、内容の充実を図ります。	口腔機能の向上のため、歯科衛生士を高齢者サロン等へ派遣し、口腔機能向上講話等を実施します。 実施回数 現状：年27回 目標：年30回
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	(1)家庭における食育の推進	①望ましい食習慣・生活リズムの確立の推進	こども家庭支援課 子育て支援課	子どもの望ましい食習慣及び生活リズムの確立	28	拡大	給食だより、食育だより、保育士参加行事等を通し、市立保育園在園児の保護者160世帯と地域子育て支援等利用者に、配信や相談時の対話、チラシ配布の啓発を行います。 啓発世帯数 現状：2,000世帯 目標：2,000世帯	市立保育園（2園）及び支援センターで、給食だよりや食育だよりの発行や、給食展示の際の啓蒙、また、相談時の対話や、チラシの配布を行いました。 啓発世帯数：2,000世帯	A	目標世帯数を達成	保育園とわかば子育て支援センターで協力し、市立保育園在園児の保護者160世帯と、生活リズムの確立などの啓発を図ります。	給食だより、食育だより、保育士参加行事等を通し、市立保育園在園児の保護者160世帯と地域子育て支援等利用者に、配信や相談時の対話、チラシ配布の啓発を行います。 啓発世帯数 現状：2,000世帯 目標：2,240世帯
			健康推進課	基本的な生活習慣と食習慣の確立を図るため「早寝早起き朝ごはん運動」の推進	5	継続	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.6% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に個別栄養指導を実施しました。 実施率：1.6歳児健診 99.9%（869人） 3歳児健診 99.8%（988人）	B	目標の99%を達成	対象者の帰宅時間等の都合により受けられず目標達成までは至らなかったが、電話でフォローする等、柔軟に対応できる体制をとり、実施していきます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.9% 3歳児健診 99.8% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%
		②妊娠婦や乳幼児に対する食育の推進		妊娠をきっかけにして、望ましい食生活について、知ることができる	29	継続	母子健康手帳交付時に望ましい生活習慣及び食生活についての情報を提供します。 現状：923人 提供予定者数：900人 （過去5年間の平均母子手帳交付数）	母子保健コーディネーターによる個別指導にて情報提供をしました。 提供者数：892人	A	対象者全員に情報提供をしたため。	引き続き対象者全員に情報提供をしていきます。	母子健康手帳交付時に望ましい生活習慣及び食生活についての情報を提供します。 現状：892人 提供予定者数：900人 （過去5年間の平均母子手帳交付数）
			こども家庭支援課	離乳食の大切さを知り、離乳食を正しく進めることができる	30	拡大	離乳食講座を通し、離乳食の大切さを知らせるとともに、楽しんで調理できるようなアドバイスをを行います。 実施者数 現状：年71組 目標：年80組	離乳食の基本や食べさせ方などを伝える離乳食講座の開催数を増やし、支援をしました。 参加者数：年93組132人	A	目標数を達成	講座の対象人数を増やし、機会の増加を図ります。	離乳食講座を通し、離乳食の大切さを知らせるとともに、楽しんで調理できるようなアドバイスをを行います。 実施者数 現状：年93組 目標：年80組
			健康推進課	望ましい食生活の実現と、健康づくりの基礎を身につけるための食育の推進	2	継続	母子健康手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターによる個別指導を実施します。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 現状：76% 目標：94%	母子保健コーディネーターによる個別指導を実施しました。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 75.8%（201人）	B	目標の81%達成	個別指導の内容を平準化し、対象者に必要な情報が伝わるよう努めます。	母子健康手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターによる個別指導を実施します。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 現状：75.8% 目標：94%
		③家族との共食の推進	こども保育課	家族との共食の大切さを知り、家庭での食生活に活かす。	31	拡大	市立保育園において、園だより・給食だより・食育だより、保育参観・保育参加・個人面談等を通して、家族との共食の大切さを啓発していきます。 啓発回数 現状：17回 目標：20回	市立保育園において、園便り、給食だより、食育だよりを通して、家族との共食の大切さについて、支援しました。 啓発回数：21回	A	目標回数を達成	引き続き園だより等の各種おたよりや保育参観、個人面談等の機会を通じて共食の大切さを啓発していく。	市立保育園において、園だより・給食だより・食育だより、保育参観・保育参加・個人面談等を通して、家族との共食の大切さを啓発していきます。 啓発回数 現状：21回 目標：22回

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の実績結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	(1)家庭における食育の推進	③家族との共食の推進	健康推進課	「食」の楽しさ、食事マナーやあいさつの習慣など、食生活の基礎が習得できるよう推進	5	継続	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.6% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に個別栄養指導を実施しました。 実施率：1.6歳児健診 99.9%（869人） 3歳児健診 99.8%（988人）	B	目標の99%を達成	対象者の帰宅時間等に都合により受けられず目標達成までは至らなかったが、電話でフォローする等、柔軟に対応できる体制をとり、実施していきます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.9% 3歳児健診 99.8% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%
		④食を楽しむ機会の提供	こども保育課	行事を通しての食を楽しむ場の提供	32	拡大	市立保育園において、計画に基づき行事食や季節に合わせた給食を提供し、園児が食を楽しむ機会となるよう支援します。 目標回数 現状：14回 目標：20回	市立保育園において、季節に合わせた給食や行事食を提供し、園児が食を楽しむ機会を設け、支援しました。 実施回数：18回	B	前回より回数は増えたが目標は未達成	提供する行事食の計画を策定し、実施します。	市立保育園において、計画に基づき行事食や季節に合わせた給食を提供し、園児が食を楽しむ機会となるよう支援します。 目標回数 現状：18回 目標：20回
			健康推進課	望ましい食習慣について学ぶ機会の提供	5	継続	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.6% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に個別栄養指導を実施しました。 実施率：1.6歳児健診 99.9%（869人） 3歳児健診 99.8%（988人）	B	目標の99%を達成	対象者の帰宅時間等に都合により受けられず目標達成までは至らなかったが、電話でフォローする等、柔軟に対応できる体制をとり、実施していきます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.9% 3歳児健診 99.8% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%
			高齢者福祉課	管理栄養士が対象者宅へ訪問し、個別指導を行い、高齢者の望ましい食習慣づくりを支援	33	継続	高齢者の望ましい食習慣づくりを支援するため、要支援者等1人につき、短期間に集中（3か月程度・計6回）して管理栄養士が個別に栄養改善や指導を行います。 実施回数 現状：年間4人 目標：年間7人程度	高齢者の望ましい食習慣づくりを支援するため、要支援者等1人につき、短期間に集中（3か月程度・計6回）して管理栄養士が個別に栄養改善や指導を実施。 実施回数：年間5人	C	栄養士（会計年度任用職員）を増員し、体制を整えたが住民からの訪問指導の希望が目標に達しなかったため。ただし、実施人数は前年度より1名増加した。	引き続き高齢者の望ましい食習慣づくりを支援します。	高齢者の望ましい食習慣づくりを支援するため、要支援者等1人につき、短期間に集中（3か月程度・計6回）して管理栄養士が個別に栄養改善や指導を行います。 実施回数 現状：年間5人 目標：年間8人程度
				介護予防教室において管理栄養士による栄養指導を行い、高齢者の望ましい食習慣づくりを支援	34	継続	1回2日間コースで管理栄養士による栄養講座などを行う「食と運動の元気アップ教室」（会場：公民館）を開催します。 開催回数 現状：8回（参加者66名） 目標：8回程度（参加者約80名）	1回2日間コースで管理栄養士による栄養講座などを行う「食と運動の元気アップ教室」（会場：公民館）を開催。 開催回数：8回（参加者67人）	B	目標回数は達成したが、参加者数が目標数に満たなかったため。	参加者数を増やすため、講座内容等の見直しをし、内容の充実を図ります。	1回2日間コースで管理栄養士による栄養講座などを行う「食と運動の元気アップ教室」（会場：公民館）を開催します。 開催回数 現状：8回（参加者67名） 目標：8回程度（参加者約120名）
		⑤在宅時間を活用した食育の推進		自発的な介護予防に資する栄養改善・口腔機能の向上などの基本的知識を盛り込んだ介護予防パンフレットを配布し、高齢者のセルフマネジメントを促す	35	継続	サロンなどの開催時に一般高齢者に対し、介護予防パンフレットをファイルに綴じた介護予防手帳を配布します。 配布数（配布者数） 現状：年310冊 目標：年500冊	サロンなどの開催時に一般高齢者に対し、介護予防パンフレットをファイルに綴じた介護予防手帳を配布。 配布数（配布者数）：年580冊	A	目標配布者数を達成	パンフレットの内容の充実を図ります。	サロンなどの開催時に一般高齢者に対し、介護予防パンフレットをファイルに綴じた介護予防手帳を配布します。 配布数（配布者数） 現状：年580冊 目標：年600冊

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の取組結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	(1)家庭における食育の推進	⑤在宅時間を活用した食育の推進	健康推進課	市広報誌やSNS等を活用した食育に関する情報の提供	18	継続	広報誌や市公式SNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年8回 目標：年10回以上	広報誌、市公式SNSで食の情報を発信しました。 情報発信回数：年10回	A	目標回数を達成	年間計画を作成し、情報発信に努めます。	広報誌や市公式SNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年10回 目標：年10回以上
	(2)保育園・認定こども園・幼稚園における食育の推進	①保育園・認定こども園・幼稚園における食育の推進	こども保育課	食育体験の充実	36	拡大	毎年作成される「保育の内容に関する全体的な計画」に定める「食育計画」により、市立保育園は自ら育てた野菜を収穫したり、調理するなど食育体験の充実を図ります。 目標回数：現状：22回 目標：24回	各園「食育計画」を作成し、市立保育園で自ら育てた野菜を収穫したり、調理するなど食育体験を実施しました。 実施回数：22回	B	目標回数未達成 園内行事も多くあり、調理体験数は増やせないが、品種を増やすなど栽培活動を計画的に実施します。	引き続き「食育計画」に基づき、野菜の栽培・収穫体験や調理する等の食育体験の充実を図ります。	毎年作成される「保育の内容に関する全体的な計画」に定める「食育計画」により、市立保育園は自ら育てた野菜を収穫したり、調理するなど食育体験の充実を図ります。 目標回数：現状：22回 目標：24回
		②給食の充実		地産地消の食材や伝統食を取り入れた献立の充実	37	拡大	市立保育園は引き続き、木更津産米を100%使用するとともに、地域の伝統食を提供します。また、地元産食材を使った給食を提供し、食材について知らせていきます。 提供回数 現状：16回 目標：18回	市立保育園では、木更津産米を100%使用し、地域の伝統食を提供しました。また、地元産食材を使った給食を提供し、食材について知らせました。 提供回数：18回	A	目標回数を達成	引き続き、地域の伝統食を提供し、食材について知らせていきます。	市立保育園は引き続き、木更津産米を100%使用するとともに、地域の伝統食を提供します。また、地元産食材を使った給食を提供し、食材について知らせていきます。 提供回数 現状：18回 目標：20回
		③食を通した保護者への支援		親子での食育体験を通した食育に関する啓発活動の実施	38	拡大	市立保育園は、家庭で親子で食育体験ができるよう、レシピや地元産食材の情報等を掲示・配信にて提供し、啓発活動を行います。 啓発目標回数：現状：13回 目標：18回	給食だよりの発行とともに、調理体験のレシピや親子でできるクッキングの簡単レシピの発行をしました。 回数：15回	B	目標の83%を達成	親子でクッキングがしなくなる、しやすいレシピの提供や掲示を行う。	市立保育園は、家庭で親子で食育体験ができるよう、レシピや地元産食材の情報等を掲示・配信にて提供し、啓発活動を行います。 啓発目標回数：現状：15回 目標：18回
	(3)学校における食育の推進	①食育の指導体制と指導内容の充実	学校教育課	各小中学校において、計画的な食育の推進	13	拡大	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：全小中学校30校 目標：全小中学校30校	全小中学校が作成・実施しました。 実施校数 全小中学校30校 (全小学校18校) (全中学校12校)	A	目標校数を達成	引き続き、全小中学校で実施します。	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：全小中学校30校 目標：全小中学校30校
		②給食の活用	学校給食課	行政・学校・生産者・食品関連事業者等の連携	39	継続	学校と連携し、生産者・協力事業者と地元農畜産物などを使用した特色ある学校給食を実施します。 実施校数 現状：小学校2校(鎌足小、中郷小) 目標：小学校2校(鎌足小、中郷小)	循環型給食や、地域の養豚場の豚肉を料理人とメニュー開発した特色ある学校給食を関係事業者と取り組みました。 実施校数 小学校2校(鎌足小、中郷小)	A	生産者、協力事業者等と連携して実施した。	生産者と連携を図り、域内循環できる食材を共有するとともに、特色のある学校給食が継続的に実施できるよう関係機関と取り組みます。	学校と連携し、生産者・協力事業者と地元農畜産物などを使用した特色ある学校給食を実施します。 実施校数 現状：小学校2校(鎌足小、中郷小) 目標：小学校2校(鎌足小、中郷小)
			学校給食センター 学校給食課	食に関する指導の全体計画に教育活動と関連付けた給食の計画を明記し、計画的に実施	40	拡大	食に関する指導計画の各目標および学年ごとのテーマに合わせ、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。（調理施設数：11施設） 提供施設数 現状：8 調理施設 目標：9 調理施設	食に関する指導計画の各目標および学年ごとのテーマに合わせ、教育活動と関連付けた給食の提供を行いました。（調理施設数：11施設） 提供施設数：11調理施設	A	学年や月ごとの食に関する指導内容に合わせた、地場産物の活用や行事にちなんだ食材を使用した給食の提供をした。	給食指導及び献立作成について示し、教育活動と関連付けた食育指導と給食に取り組みます。	食に関する指導計画の各目標および学年ごとのテーマに合わせ、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。（調理施設数：11施設） 提供施設数 現状：11調理施設 目標：11調理施設
		③家庭・地域・学校が連携した食農教育に関する取組の推進	学校教育課	小学校3～6年生の総合的な学習の時間における食農教育の推進	41	継続	小規模特認校制度推進事業を活用して、地域と連携した食農教育を進めます。 対象校：東清小、中郷小、鎌足小、富来田小	小規模特認校制度推進事業を活用して、地域と連携した食農教育を東清小、中郷小、鎌足小、富来田小4校全てで実施することができました。	A	4校全てで実施することができました。	継続して取り組んでいます。	小規模特認校制度推進事業を活用して、地域と連携した食農教育を進めます。 対象校：東清小、中郷小、鎌足小、富来田小

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の取組結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組内容（指針）										
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	(3)学校における食育の推進	③家庭・地域・学校が連携した食農教育に関する取組の推進	学校教育課	小学校3～6年生の総合的な学習の時間における食農教育の推進	42	拡大	学校支援ボランティア活動推進事業等を活用し、地域と連携した食農教育を進めます。 実施校数 現状：小学校15校 目標：全小学校18校	学校支援ボランティア活動推進事業等を活用し、地域と連携した食農教育（栽培から調理）を実施しました。 実施校数：小学校18校（一部実施4校）	A	目標校数を達成	完全実施ができなかった一部実施校には、支援策を提案し、次年度の実施に繋げていきます。	学校支援ボランティア活動推進事業等を活用し、地域と連携した食農教育を進めます。 実施校数 現状：小学校18校（一部実施4校） 目標：全小学校18校
			農業委員会	農業委員会及び地域の農業者が連携・協力して計画及び実施に取り組み、農業体験を通して「食」に対する意識の向上	43	拡大	5月 田植え体験 9月 稲刈り体験 対象 市内小学校 農業体験実施校の増加に努めます。 実施校数 現状：小学校6校 目標：小学校8校	農業体験実施校 東清小学校・南清小学校・岩根小学校・高柳小学校・鎌足小学校・中郷小学校 計6校で実施	C	前年度実施校は引き続き実施できたが、新規実施校は条件的（学校近くに農地がない、農地があっても道路事情が良くない等）に厳しい状況です。	農業委員・農地利用最適推進委員とより連携し、学校側に働きかけていきます。	5月 田植え体験 9月 稲刈り体験 対象 市内小学校 農業体験実施校の増加に努めます。 実施校数 現状：小学校6校 目標：小学校9校
	(3)学校における食育の推進	④教職員の資質向上	学校教育課	教職員の食育に対する意識高揚と資質の向上	44	継続	教諭・養護教諭・栄養教諭を対象とする食育に関する研修の受講を推奨します。 推奨回数 現状：年1回 目標：年1回	学校独自に研修の場を設定している学校も見られたり、市内小学校栄養教諭の実践発表の場に多くの教職員の参加が見られた。	A	受講機会を周知し研修への参加を促すことができました。	今年度も研修の機会を提供し、受講を促していきます。	教諭・養護教諭・栄養教諭を対象とする食育に関する研修の受講を推奨します。 推奨回数 現状：年1回 目標：年1回
				学校給食課、学校給食センターとの連携を図り、保護者への情報提供	45	拡大	給食だよりの発行、学校掲示物・ホームページの充実を図ります。 現状：随時 目標：随時	給食だより・献立表だけでなく、給食写真や献立のねらいについても掲載しています。また、掲示コーナーに体験コーナーを作っている学校も見られました。	A	各学校それぞれの実情に合わせて工夫が見られました。	更なる充実のため、各校の工夫を他校に紹介していきます。	給食だよりの発行、学校掲示物・ホームページの充実を図ります。 現状：随時 目標：随時
		⑤保護者への情報提供	学校給食課	食育に関する情報の提供	46	拡大	各調理施設が給食だより等により保護者へ情報提供を行うため、農林水産課と連携し生産者等の画像等情報を提供します。 提供回数 現状：随時 目標：随時	各調理施設が給食だより等により保護者へ情報提供を行うため、農林水産課と連携し生産者等の画像等情報を提供しました。 提供回数：年2回 （全施設共通実施 有機米・近在野菜）	A	生産者や圃場の様子、生育状況などを学校栄養士へ情報提供した。	興味関心のある画像等の情報を提供できるような学校関係者と連携して取り組む。	各調理施設が給食だより等により保護者へ情報提供を行うため、農林水産課と連携し生産者等の画像等情報を提供します。 提供回数 現状：年2回 目標：年3回以上
			学校給食センター 学校給食課	食に関する旬な情報を提供	47	拡大	旬な話題を給食だより臨時号等で発信します。 情報発信回数 現状：年2回以上 目標：年2回以上	旬な話題を給食だより臨時号等で発信しました。 情報発信回数：年3回 （全施設共通実施 牛乳のストローレス・防災給食・食育動画）	A	ストローレスや防災給食、食育動画配信など食に関する旬な情報を発信した。	新たな取組や食育に関する情報など学校給食と関連付けた話題を保護者に向けて発信する。	新たな取組や食に関する旬な話題を給食だより臨時号等で発信します。 情報発信回数 現状：年3回以上 目標：年3回以上
	(4)地域における食育の推進	①栄養バランスに優れた日本型食生活の実践の推進	健康推進課	各種栄養指導の場における日本型食生活の実践の推進	5	継続	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.6% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に個別栄養指導を実施しました。 実施率：1.6歳児健診 99.9%（869人） 3歳児健診 99.8%（988人）	B	目標の99%を達成	対象者の帰宅時間等の都合により受けられず目標達成までは至らなかったが、電話でフォローする等、柔軟に対応できる体制をとり、実施していきます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.9% 3歳児健診 99.8% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%
		②農林漁業者と食品関連事業者等との連携した食育の推進	農林水産課 健康推進課	市広報誌やSNS等を活用した食育に関する情報の提供	48	新規	食育コンシェルジュ（食生活改善サポーター）の活動を広報誌、市公式SNS、公民館での掲示等を通じて情報発信をしていきます。 情報発信回数 目標：年6回以上（健康推進課として）	広報誌、市公式SNSで情報発信をしました。 情報発信回数 年8回 （健康推進課7回、農林水産課1回）	A	目標を達成	引き続き継続的に情報発信をしていきます。	食育コンシェルジュ（食生活改善サポーター）の活動を広報誌、市公式SNS、公民館での掲示等を通じて情報発信をしていきます。 情報発信回数 現状：年8回 目標：年6回以上

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の実取組結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	(4)地域における食育の推進	③地域や保健・医療機関等における食育の推進	健康推進課	からだづくりや生活習慣病の発症・重症化予防のため、望ましい食生活についての理解・実践の推進	19	継続	単純肥満および腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率 現状：99.2% 目標：95%以上	若年期健康診査後に、対象者に保健指導を実施しました。 実施率：94.4%（153人）	B	目標の99.4%を達成。 令和5年度より実施人数は30名増加したが、対象者数も増加したため、実施率は低下した。マンパワーが課題である。	保健指導を受けやすい体制づくりを検討します。	単純肥満および腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率 現状：99.4% 目標：95%以上
		④専門的知識を有する人材の養成・活用	農林水産課 健康推進課	食育コンシェルジュ（食生活改善サポーター）の育成・活用	49	新規	食育コンシェルジュ（食生活改善サポーター）を委嘱し、食育推進活動と研修会を実施します。 研修会 現状：5回 目標：6回（年間計画に基づく）	食生活改善サポーター全員を対象とした研修会を実施しました。 研修会：5回	B	食生活改善サポーターの年間活動計画の変更により目標の研修会回数が5回にいたため。	引き続き計画に沿っての実施し、資質向上に努めます。	食育コンシェルジュによる食育推進活動・研修会を実施するとともに、新たな食育コンシェルジュを養成します。 現状：研修会5回 目標：研修会5回
		⑤食育的な売り場づくりの検討	農林水産課	小売店への啓発	50	新規	小売店に対し、引き続き「地産地消推進店認定制度」の周知と合わせ、理解と協力を依頼します。 啓発店数（累計） 現状：30店 目標：40店	小売店に対し、「地産地消推進店認定制度」の周知と合わせ、理解と協力を依頼しました。 啓発店数：38店	B	目標の95%を達成	「地産地消推進店認定制度」の周知と合わせ、理解と協力を依頼する。	小売店に対し、引き続き「地産地消推進店認定制度」の周知と合わせ、理解と協力を依頼します。 啓発店数（累計） 現状：38店 目標：50店
		⑥災害等の非常時に備えた食に関する普及啓発	危機管理課	災害等の非常時に備えることの大切さの普及啓発	51	継続	講演等の市民が集まる際に、災害等の非常時に備えることの大切さを普及啓発します。 啓発回数 現状：市防災訓練：1回 防災フェスタ：1回 目標：市防災訓練：1回 防災フェスタ：1回 防災研修等：8回	災害等の非常時に備えることの大切さの普及啓発に向け、防災訓練で非常食の配布等を実施いたしました。 啓発回数 市防災訓練：1回 防災フェスタ：1回 防災研修等：8回	A	目標回数を達成	市民参加型の防災研修や防災訓練等での配布を引き続き実施し、日頃から防災意識の普及啓発に努める。	講演等の市民が集まる際に、災害等の非常時に備えることの大切さを普及啓発します。 啓発回数 現状：市防災訓練：1回 防災フェスタ：1回 防災研修等：8回 目標：市防災訓練：1回 防災フェスタ：1回 防災研修等：9回
		⑦貧困等の状況にある子どもに対する食育の推進	生活支援課	経済的に困難な家庭に対する食の支援	52	継続	引き続きフードバンク等と連携し、経済的に困難な家庭に対し食に関する情報提供の支援を必要に応じて随時行います。	フードバンク等と連携し、経済的に困難な家庭に対し食に関する情報提供の支援を必要に応じて随時行いました。	A	必要に応じて食に関する情報提供の支援を実施することができたため。	引き続き情報提供の支援を実施致します。	引き続きフードバンク等と連携し、経済的に困難な家庭に対し食に関する情報提供の支援を必要に応じて随時行います。
			福祉相談課	フードバンクに関する情報の提供	53	継続	フードバンクについての情報提供を行います。 情報提供 現状：随時 目標：随時	フードバンク等と連携し、経済的に困難な家庭に対し食に関する情報提供を必要に応じて随時行いました。	A	必要に応じて食に関する情報提供を実施することができたため。	引き続き情報提供を行います。	フードバンクについての情報提供を行います。 情報提供 現状：随時 目標：随時
		⑧高齢者等への買物支援	高齢者福祉課	自ら生鮮食料品等を選ぶことができる買い物を通じて食に対する意欲の増進を図るため、移動スーパーの運行・維持への支援の継続	54	継続	民間事業者の移動スーパーが運行・維持できるよう支援します。継続して運行ができるよう、実施地域での周知活動等を行うとともに、必要に応じて、高齢者の買い物ニーズに合わせた運行ルートの見直しに協力します。 月延べ利用者数 現状：1,415人 目標：1,500人程度	民間事業者の移動スーパーが運行・維持できるよう支援しました。継続して運行ができるよう、実施地域での周知活動等を行うとともに、必要に応じて、高齢者の買い物ニーズに合わせた運行ルートの見直しに協力しました。 月延べ利用者数：1,542人	A	目標利用者数を達成	引き続き、移動スーパーの運行及び維持について、支援をします。 高齢者の買い物ニーズを把握し、必要な地域で移動スーパーの運行が実施できるよう、協力します。	民間事業者の移動スーパーが運行・維持できるよう支援します。継続して運行ができるよう、実施地域での周知活動等を行うとともに、必要に応じて、高齢者の買い物ニーズに合わせた運行ルートの見直しに協力します。 月延べ利用者数 現状：1,542人 目標：1,600人程度

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の取組結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
3 食の安全・安心の確保	安全・安心な食の情報提供	①生産記録の記帳の推進	農林水産課	生産記録の記帳推進	55	新規	農協等と連携のうえ、生産団体の会議等を活用し生産記録（防除日誌）の記帳に向けた生産者への啓発を実施します。 啓発回数 現状：年7回 目標：年7回	農協と連携し、生産団体の会議等を活用し生産記録（防除日誌）の記帳に向けた生産者への啓発を実施しました。 啓発回数：年7回	A	目標回数達成	農協等と連携し、生産記録（防除日誌）の記帳に向けた生産者への啓発に取り組みます。	農協等と連携のうえ、生産団体の会議等を活用し生産記録（防除日誌）の記帳に向けた生産者への啓発を実施します。 啓発回数 現状：年7回 目標：年7回
		②生涯学習を活用した食の安全・安心の啓発	生涯学習課 公 民 館	市民が安全・安心な食品を選択することができるよう啓発	21	拡大	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で手作りの大切さを学ぶ講座を開催し、さらに啓発に努めます。 講座開催数 現状：17回（参加者205人） 目標：30回（参加者約450人）	青少年対象「料理教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」等、手作りの大切さを学ぶ講座を開催しました。 実施回数：27回（参加者数：460人）	A	各公民館において、啓発を実施することはできましたが、地域二一と合わない館もあり、講座開催の目標回数には届きませんでした。参加人数は目標を達成しました。	各公民館で地域と相談しながら、必要に応じて料理教室等を実施するよう努めます。	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で手作りの大切さを学ぶ講座を開催し、さらに啓発に努めます。 講座開催数 現状：17回（参加者205人） 目標：30回（参加者約450人）
4 持続可能な食を支える食育の推進	(1)地産地消の推進	①地域農林水産業の振興	農林水産課	地元産農水産物の普及のため、関係団体、農水産業者と連携し、生産拡大と品質の向上	56	拡大	生産力強化のために認定農業者等が導入する機械施設等に対し、経費の一部を補助し、園芸産地の育成を図ります。 補助経営体数（累計） 現状：10経営体（法人4、個人5、組合1） 目標：11経営体（法人4、個人6、組合1）	農業者2名に対し補助を実施しました。 補助経営体数（累計）：12経営体（法人4、個人7、組合1） J A木更津市の支部長回覧にて制度の周知を図りました。	A	目標を上回る数の経営体へ実施できました。	引き続き、生産拡大や品質向上を目指す経営体に事業の活用を促します。	生産力強化のために認定農業者等が導入する機械施設等に対し、経費の一部を補助し、園芸産地の育成を図ります。 補助経営体数（累計） 現状：12経営体（法人4、個人7、組合1） 目標：14経営体（法人5、個人8、組合1）
					57	拡大	露地野菜等の生産力強化のため、農業者が耕作放棄地を再生し、生産出荷に必要な機械等に対し、経費の一部を補助し、耕作放棄地の再生を図ります。 令和4年度末で県の補助事業廃止	—		令和4年度まで県の補助事業で実施していましたが、当該事業が廃止されたことにより、実績がありませんでした。	令和7年度より廃止し、アクションプランの見直しを行います。	
					58	拡大	耕作放棄地を再生し、生産規模拡大をめざす農業者等に対し、再生作業に要する経費を支援することで、耕作放棄地の再生に取り組む生産者の確保を図ります。 補助経営体数（累計） 現状：3経営体（個人3） 目標：4経営体（個人4）	1経営体（法人）に耕作放棄地を再生する経費の補助を実施しました。 （耕作放棄地解消面積 約2ha） 累計：4経営体（個人3 法人1） J A木更津市の支部長回覧にて制度の周知を図りました。	A	法人1経営体に補助を実施し、目標を達成いたしました。	耕作放棄地を再生し、規模拡大を目指す農業者の情報を関係機関と共有し事業実施による耕作放棄地の再生に取り組む生産者の確保に努めます。	耕作放棄地を再生し、生産規模拡大をめざす農業者等に対し、再生作業に要する経費を支援することで、耕作放棄地の再生に取り組む生産者の確保を図ります。 補助経営体数（累計） 現状：4経営体（個人3・法人1） 目標：6経営体（個人4・法人2）
					59	拡大	垂下式のカキカゴ養殖に対して資材等経費の支援により、継続した生産体制の確保、事業拡大のための支援を行います。 カキの出荷量 現状：340.2kg 目標：4,600kg	事業規模拡大のため、垂下式のカキ養殖に必要なカキ養殖施設（カキ籠等）に係る経費の一部を補助しました。 カキ籠：156個（経費の一部を補助） カキの出荷量：600kg	C	生育不良により目標を達成できませんでした。	引き続き、生産体制の確保、事業拡大のための資材等の経費の一部を支援していきます。	垂下式のカキカゴ養殖に対して資材等経費の支援により、継続した生産体制の確保、事業拡大のための支援を行います。 カキの出荷量 現状：600kg 目標：2,600kg.

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和６年度取組内容及び目標	令和６年度取組結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和６年度実施結果に基づく改善内容	令和７年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
４ 持続可能な食を支える食育の推進	(1)地産地消の推進	①地域農林水産業の振興	農林水産課	地元産農水産物の普及のため、関係団体、農水産業者と連携し、生産拡大と品質の向上	60	拡大	ノリ生産枚数減少の一因となっている魚類等の食害被害防止のため、市内２漁協が実施する事業を支援します。 １戸あたりの年間ノリ生産量 現状：33万枚 目標：34万枚	魚類等からのノリ食害防止のための事業である、防除ネットの設置に関する資材等経費の支援を実施しました。 防除ネット：4,730m（経費の一部補助） １戸あたりの年間ノリ生産量：36万枚	A	１戸当たりの年間ノリ生産量の目標枚数を達成	引き続き、漁協が取組んでいるノリ生産枚数減少の一因となっている魚類等の食害防止について支援を行ってきます。	ノリ生産枚数減少の一因となっている魚類等の食害被害防止のため、市内２漁協が実施する事業を支援します。 １戸あたりの年間ノリ生産量 現状：36万枚 目標：34万枚
					61	拡大	市内２漁協が行う、本市の水産業（アサリ）を振興していくための事業を支援します。 アサリの年間水揚げ量 現状：167 t 目標：134 t	市内２漁協が行う、アサリの生産振興のための事業支援を行いました。 アサリの年間水揚げ量：236 t	A	アサリの年間水揚げ量の目標を達成	引き続き、漁協が取組んでいるアサリ育成のための稚貝の越冬、食害防止対策の支援を行ってきます。	市内２漁協が行う、本市の水産業（アサリ）を振興していくための事業を支援します。 アサリの年間水揚げ量 現状：236 t 目標：134 t
		②給食を活用した地産地消の推進	こども保育課	地産地消の食材を取り入れた献立の充実	62	拡大	毎月19日の食育の日を中心に、地元産食材を取り入れた給食を提供し、園児に紹介します。保護者には掲示や配信等で知らせていきます。 目標回数 現状：14回 目標：17回	毎月食育の日を中心に、地元産食材を取り入れた給食を提供し、園児に紹介するとともに保護者へ掲示等を行いました。 新たに木更津市産海苔の使用が可能になりました。 地元産食材を取り入れ、給食とともに紹介した。 回数：15回	B	1増も目標回数未達成。	地元産農産物を納入可能な食材業者を探します。 保護者には掲示や配信等で知らせていきます。	毎月19日の食育の日を中心に、地元産食材を取り入れた給食を提供し、園児に紹介します。保護者には掲示や配信等で知らせていきます。 目標回数 現状：15回 目標：18回
					63	拡大	毎年１月の全国学校給食週間に合わせ実施している近在野菜を使用する取り組みで、収穫量の確保で用量とのバランスが安定するように関係者に理解と協力を依頼します。 使用品目数 現状 ５品目 （キャベツ・大根・人参・白菜・長ねぎ） 目標 ６品目 （キャベツ・大根・人参・白菜・長ねぎ・ほうれん草）	毎年１月の全国学校給食週間に合わせ実施している近在野菜を使用する取り組みで、使用品目を増やせるよう関係者に協力を依頼し、学校での取組等共有しました。 使用品目数 ６品目 （キャベツ・大根・人参・白菜・長ねぎ・レタス）	A	生産者や市場関係者に品目と生産調整を依頼し、目標使用品目数を達成できた。	協力関係者と協議、連携し、近在野菜の安定的な確保、使用に取り組めます。	毎年１月の全国学校給食週間に合わせ実施している近在野菜を使用する取り組みで、収穫量の確保で用量とのバランスが安定するように関係者に理解と協力を依頼します。 使用品目数 現状 ６品目 （キャベツ・大根・人参・白菜・長ねぎ・レタス） 目標 ７品目 （キャベツ・大根・人参・白菜・長ねぎ・レタス・ターサイ）
			学校給食センター 学校給食課	地産地消の食材を取り入れた献立の充実	14	継続	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：74.2% 目標：85%以上	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信しました。 地元生産食材使用率：71.2%	B	天候等により予定していた産地の食材が納品できないこともあったが、各施設ごとに可能な限り地産地消に取り組んだ。	協力関係者と連携し、市場の流通状況や産地情報を意識した献立作成に取り組めます。	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：71.2% 目標：85%以上
					64	継続	学校栄養士等が生産者を取材し、給食だより等で情報を発信します。 取材した生産者数（累計） 現状：５経営体 目標：５経営体	学校栄養士等が生産者や生産者の畑等取材し、給食だより等で情報を発信しました。 取材した生産者数（累計）：６経営体	A	顔の見える地産地消給食の実施	市の取り組み情報を学校と共有するとともに学校給食と関連付けた情報を発信します。	学校栄養士等が生産者を取材し、給食だより等で情報を発信します。 取材した生産者数（累計） 現状：６経営体 目標：６経営体
			学校給食課	給食施設の整備	65	新規	安全安心な学校給食の提供のため、地域の農林水産物食材（農業関係機関と連携）を優先的に取り入れた手作り給食を基本とする給食施設の構想を作成します。	給食施設の構想策定に向け、構想案を作成しました。	B	候補地やスケジュールに課題があり、構想の策定には至らなかったものの構想案が完成した。	関係者と連携を図り構想の作成を進めます。	安全安心な学校給食の提供のため、地域の農林水産物食材（農業関係機関と連携）を優先的に取り入れた手作り給食を基本とする給食施設に係る基本構想の完成を目指します。

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の取組結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
4 持続可能な食を支える食育の推進	(1)地産地消の推進	②給食を活用した地産地消の推進	農林水産課	学校給食に向けた有機米栽培の拡大	66	拡大	市内農業者を対象に、先進的に有機水稻栽培を行っている方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機米生産面積 現状：26ha 目標：33ha	有機米の生産促進・拡大に向け、外部講師による講習会の開催やほ場巡回等を実施し、農業者の取り組みを支援しました。 有機米生産面積 実績：33ha	A	引き続き、本取組をPRし、協力生産者を増やす必要があります。	有機農業への理解増進を図り、協力生産者の増加を目指します。	市内農業者を対象に、先進的に有機水稻栽培を行っている方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機米生産面積 現状：33ha 目標：38ha
				学校給食提供食材の地場産物の利用促進	67	新規	生産者団体等と連携し、協力者の増加に取り組みます。 協力農業者：現状：5人 目標：8人	学校給食の地産地消を推進するため、市内産野菜等の農業者に協力を依頼しました。 協力農業者数 実績：6人	C	学校への納品や配送時間などの条件に合わせられる協力生産者を増やす必要があります。	学校給食の地産地消促進への理解を図り、協力生産者の増加を目指します。	生産者団体等と連携し、協力者の増加に取り組みます。 協力農業者：現状：6人 目標：9人
		③地産地消の普及啓発	農林水産課	地元農林水産物を購入しやすい店舗の増加と周知	68	新規	市HPや商工会議所等と連携し認定制度の周知を図り、認定店の増加に取り組みます。 推進店数 現状：30店 目標：40店	地元農林水産物を取扱う店(小売店・飲食店)を「地産地消推進店」として認定。目印となるのぼり旗・ステッカーを貸与し、市HP等で市民に周知を図った。 推進店数：38店	B	目標の95%を達成	認定制度の周知を図り、認定店の増加に取り組みます。	市HPや商工会議所等と連携し認定制度の周知を図り、認定店の増加に取り組みます。 推進店数 現状：38店 目標：50店
			農林水産課	地産地消の啓発	69	新規	・関係課と連携し、レシピを付けた旬な地元農林水産物を、広報誌・市公式HP等で啓発を実施します。 ・地元産農林水産物を使用した料理レシピコンテストを実施し、地場産農林水産物の啓発を行います。 ・地元産農林水産物を使用した親子クッキング教室を開催し、地元産農林水産物の啓発を行います。 広報誌・市公式HP等での啓発頻度 現状：毎月1回 目標：毎月1回	・関係課と連携し、レシピを付けた旬な地元農林水産物を広報誌・市公式HP等での啓発を実施しました。 ・料理レシピコンテストを開催し、入賞作品レシピを小中学校と保育園給食で提供。市公式HP等で啓発を実施しました。 (応募数：9名・15作品) ・親子クッキング教室を開催し、地元産農林水産物の啓発を行いました。(参加者数：7組17人) 啓発頻度：毎月1回	A	目標啓発頻度を達成	関係課と連携を図り、啓発に取り組みます。	・関係課と連携し、レシピを付けた旬な地元農林水産物を、広報誌・市公式HP等で啓発を実施します。 ・新たに「食育だより」を発行し、市公式HP・Facebookで配信するほか、市と連携協定を締結している生保会社で顧客等へ配付します。 ・地域の郷土食である「太巻寿司」の調理教室を市民・親子を対象に実施し、地場産農林水産物の啓発を行います。 広報誌・市公式HP等での啓発頻度 現状：毎月1回 目標：毎月1回
					70	新規	関係課と連携し、イオンモール木更津で市民を対象とした掲示物・対面による啓発を6月・12月(食育フェスタ)に実施します。 現状：2回 目標：2回	関係課・民間企業と連携し、イオンモール木更津で市民を対象とした掲示物・対面による啓発を6月・12月(食育フェスタ)に実施しました。 現状：2回 実施：2回(啓発者数：1,819人)	A	目標実施回数を達成	より多くの方に理解いただけるよう啓発内容の充実に取り組みます。	関係課・民間企業と連携し、イオンモール木更津で市民を対象とした掲示物・対面による啓発を6月・11月に実施します。 現状：2回 目標：2回
	(2)生産者と消費者の交流促進	①イベント等を活用した交流の推進	農林水産課	地元生産品の地域内消費の促進	15	拡大	引き続き、地産地消の推進を行うためエコノートの配布を行うとともに、関心度が高くなるような働きかけを行っていきます。 取組率：現状 60% 目標 84% 【再掲】	夏休み前に市立小学5年生全員にエコノートを配布しました。配布後に行ったアンケートでは、「エコノートを見て何かに取り組んだ」と回答した児童の割合は59%でした。 取組率：59%	C	現状の取組率よりも低い結果となりました。エコノートの取組については学校や先生毎の指導の影響により取り組みへの関心度が大きく異なります。	環境政策課より、学校側へ関心度を大きくしてもらえるような案内等を行うなど、関心度が高くなるような働きかけを行っていきます。	引き続き、地産地消の推進を行うためエコノートの配布を行うとともに、環境教育について包括連携事業者等と協力し、出前講座の案内を行うなど、関心度が高くなるような働きかけを行っていきます。 取組率 現状：59% 目標：87%
					71	拡大	既存イベントへの生産者参加促進と庁内各課にイベント告知チラシに食育のキャッチフレーズを入れる等依頼し啓発を実施します。 実施イベント数 現状：2回 目標：2回	既存イベントへの生産者参加促進と庁内イベントでの啓発を実施しました。 実施イベント数：2回	A	目標を達成	引き続き、生産者の参加促進と啓発の実施に取り組みます。	既存イベントへの生産者参加促進と庁内各課にイベント告知チラシに食育のキャッチフレーズを入れる等依頼し啓発を実施します。 実施イベント数 現状：2回 目標：2回

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の取組結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
4 持続可能な食を支える食育の推進	(2)生産者と消費者の交流促進	②生産者と保育園、学校等との交流の推進	こども保育課	生産者の畑での収穫体験の実施	72	新規	市立保育園（2園）は、保育計画の中に新たに生産者との交流の機会を掲げ、協力生産者との連携を図り、栽培している野菜について興味関心をもつ機会を持ち、生産者との交流を図ります。 交流回数：現状 0回 目標 1回	生産者との交流はできませんでしたが、保育園の園庭で米や野菜の栽培を行い、調理体験の実施や給食で提供しました。また、卸売市場やほ場の見学などを行いました。	B	生産者との交流はできなかったが、それ以外の米・野菜の栽培や調理体験などを実施できたので、B評価としました。 生産者の確保が課題	交流可能な生産者を探します。	市立保育園（2園）は、保育計画の中に新たに生産者との交流の機会を掲げ、協力生産者との連携を図り、栽培している野菜について興味関心をもつ機会を持ち、生産者との交流を図ります。 交流回数：現状 0回 目標 1回
			学校給食課 農林水産課	生産者等と学校の交流促進	73	継続	生産者の顔が見える学校給食実現のため、有機米を初めとする給食食材提供の生産者等と学校の給食試食会を実施します。 実施校：現状：小学校2校 目標：小学校1校	生産者の顔が見える学校給食実現のため、有機米の生産者等と学校の給食試食会を実施しました。 実施校：小学校2校 （実施校：鎌足小学校・中郷小学校）	A	学校の理解と生産者や関係機関の協力において目標を達成した。	給食試食会を通して交流の機会となるよう取り組みます。	生産者の顔が見える学校給食実現のため、有機米を初めとする給食食材提供の生産者等と学校の給食試食会を実施します。 実施校：現状：小学校2校 目標：小学校1校
		②生産者と保育園、学校等との交流の推進	学校給食センター 学校給食課	生産者と学校の交流のサポート	74	継続	各調理施設において給食で使用した食材や生産者等の情報を教職員に提供し、食育の活用に努めます。 情報提供回数：現状：随時 目標：随時	各調理施設において給食で使用した食材や生産者等の情報を教職員に提供し、給食時間の食育に活用しました。 情報提供回数：年3回 （全施設共通実施 のり・有機米・近在野菜）	A	全調理施設において、食育に活用できました。	食育に活用できる資料を提供します。	各調理施設において給食で使用した食材や生産者等の情報を教職員に提供し、食育の活用に努めます。 情報提供回数：現状：随時 目標：随時
			③農水産業体験のPR・利用の促進	農林水産課	農水産業体験のPR・利用の促進	75	新規	観光振興課・観光協会と連携し、観光ガイドブック等で施設・利用促進のPRを実施するとともに、体験農業実施に向け農業者の意向調査の結果を整理し、支援方法を検討します。	観光振興課・観光協会と連携し、観光ガイドブック等で施設・利用促進のPRを実施しました。 体験農業実施に向け、観光農園の施設整備を支援しました。 施設整備：トイレ整備に補助	A	目標を達成	引き続き、PR等に取り組みます。
		都市と農村の交流促進			76	継続	・市内外の都市住民を対象に、農泊を1回実施します。 ・農業、食への理解を深めるため、親子での農作業収穫体験会を春と秋に3回実施します。 実施回数：現状：0回 目標：4回	・事業実施に向け事業者と協議したが、体験内容や周知方法、宿泊先の選定など課題も多く、具体的な内容まで決まらず、実施にいたりませんでした。 ・農業、食への理解を深めるため、親子での農作業収穫体験会を春と秋に3回実施しました。（参加者145人） 実施回数：3回	B	事業実施のため、事業者との綿密な協議をする必要があります。	市内外の都市住民との交流を促進するため、魅力的な旅行を企画していきます。	・ささらづDMOと連携し、オーガニックツアーのコンテンツの一つとして、農泊を実施します。 ・農業、食への理解を深めるため、親子（春と秋の2回）と高校生向けの農作業収穫体験会を実施します。 実施回数：現状：3回 目標：4回
	(3)環境に配慮した食生活の推進	①有機農業・環境保全型農業の推進	農林水産課	有機農業・環境保全型農業生産者の増加	77	拡大	市内農業者を対象に、先進的に有機水稻栽培に取り組んでいる方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機米生産農家数；現状：16経営体 目標：25経営体	有機米の生産促進・拡大に向け、外部講師による講習会を開催し、有機水稻栽培への理解増進に努めました。 有機米生産農家数 実績：21経営体	B	継続的に有機米生産農家数を増加させるためには、生産者の有機農業への理解を深めていく必要があります。	有機農業への理解増進を図りながら収量向上につながる支援により、協力生産者の増加を目指します。	市内農業者を対象に、先進的に有機水稻栽培に取り組んでいる方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機米生産農家数；現状：21経営体 目標：30経営体
					78	拡大	県等と情報を共有し、情報発信等に努め、環境保全型農業の推進に努めます。 取り組み農家数（累計） 現状：8経営体 目標：26経営体	地球温暖化防止や生物多様性の保全等に効果の高い営農活動に取り組んでいる農業者に対し支援しました。 取り組み農家数（累計） 実績：26経営体	A	目標達成。引き続き、環境保全型農業を普及させるための支援を行ってきます。	県や国と情報を共有し、情報発信等に努め、環境保全型農業の推進に努めます。	制度の周知を強化し、環境保全型農業の推進に努めます。 取り組み農家数（累計） 現状：26経営体 目標：27経営体

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の実績	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
4 持続可能な食を支える食育の推進	(3)環境に配慮した食生活の推進	①有機農業・環境保全型農業の推進	農林水産課	有機農業・環境保全型農業生産者の増加	79	拡大	市内農業者を対象に、先進的に有機水稲栽培・有機野菜栽培を先進的に行っている方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機JAS認証取得経営体数（累計） 現状：18経営体 目標：19経営体	新規に1件の有機JAS認証を取得した生産者の支援を行いました。 有機JAS認証取得経営体数（累計） 実績：19経営体	A	有機米JAS取得者を増加させるためには、生産者の有機農業への理解を深めていく必要があります。	有機農業への理解増進を図り、協力生産者の増加を目指します。	市内農業者を対象に、先進的に有機水稲栽培・有機野菜栽培を先進的に行っている方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機JAS認証取得経営体数（累計） 現状：19経営体 目標：20経営体
		②食品ロス等の削減に向けた取り組みと啓発	資源循環推進課	市民全員が食品ロス問題を深刻に捉え、3Rに取り組む社会へ	80	継続	食品ロスを含めた3Rの広報啓発を広報きさらづ、市公式SNS等で随時啓発を行います。 啓発回数 現状：随時 目標：随時	広報きさらづで食品ロスや3Rについての内容を掲載し啓発を実施しました。 掲載実績：1回（R6.12月号）	A	継続した広報活動が実施できたため。	引き続き広報活動を実施します。	食品ロスを含めた3Rの広報啓発を広報きさらづ、市公式SNS等で随時啓発を行います。 啓発回数 現状：随時 目標：随時
					81	拡大	学校や自治会にむけた出前講座・学習会を随時行います。 実施回数 現状：年4回 目標：年4回	学校への出前授業を始め、廃棄物中間処理許可業者による工場見学、協力企業による授業等を実施しました。 実施回数：4回	A	目標を達成	引き続き、出前講座・学習会を実施します。	学校や自治会にむけた出前講座・学習会を随時行います。 実施回数 現状：年4回 目標：年5回
					82	拡大	商工会議所会報「商工きさらづ」で企業に向けた食品ロス削減の啓発を行います。 啓発回数：現状：0回 目標：年2回	啓発回数：1回（令和6年12月号）	C	2回での啓発を実施したもののうち、1回は別のテーマで実施したため。	引き続き商工会議所会報での啓発を行います。	商工会議所会報「商工きさらづ」で企業に向けた食品ロス削減の啓発を行います。 啓発回数：現状：1回 目標：年2回
					83	継続	市内保育園等の給食残渣を堆肥化し、市民に無料配布を行います。 R6年度は機械のメンテナンスと併せ、機能の回復を委託業務において実施するよう協議予定。（R5年度にこれまで担当したサポート業者が自己破綻により撤退。同サービスの業者を選定中） 年間配布総量 現状：約950kg 目標：約2,400kg	R5年度より発生していた故障は、機械メンテナンス等の実施により解消し、処理能力が回復しました。 また、事業について広報等を通じて周知し、配布希望者の増加を図りました。 年間配布総量：2,149kg	B	処理能力の回復と事業の周知により、配布可能な肥料は全量配布できましたが、目標には至りませんでした。	今後は投入する給食残渣を増量すること等について検討して参ります。	市内保育園等の給食残渣を堆肥化し、市民に無料配布を行います。 年間配布総量 現状：約2,149kg 目標：約2,400kg
			資源循環推進課	市民全員が食品ロス問題を深刻に捉え、3Rに取り組む社会へ	84	拡大	生ごみ肥料化容器等の購入に助成金を交付し、家庭生ごみの肥料化を進めます。 制度の申請手続きを作成します。 申請基数 現状：49基 目標：80基	家庭における生ごみの再資源化を進め、焼却処分されるごみの減量化を促進するため、生ごみ肥料化容器等の購入に対する助成を行いました。 また、制度の申請手続きについては、作成することができませんでした。 申請件数：69基	B	広報やホームページでの周知を行いました。が、目標値を下回ったため。	引き続き、生ごみの減量化や資源の循環に関する啓発とともに助成金に関する周知を実施します。	生ごみ肥料化容器等の購入に助成金を交付し、家庭生ごみの肥料化を進めます。 制度の申請手続きを作成します。 申請基数 現状：69基 目標：80基
					85	拡大	食品ロス等の削減に向けたフードドライブについて、広報啓発を強化し、年間寄付者の増加を図ります。 年間寄付者数 現状：4人 目標：20人	年間寄付者数：0人	C	目標値を下回ったため。	引き続き、広報活動やイベント等での寄附受付等実施するとともに、寄附がしやすい新たな受付の拠点等について、検討いたします。	食品ロス等の削減に向けたフードドライブについて、広報啓発を強化し、年間寄付者の増加を図ります。 年間寄付者数 現状：0人 目標：20人

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和6年度取組内容及び目標	令和6年度の取組結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和6年度実施結果に基づく改善内容	令和7年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
4 持続可能な食を支える食育の推進	(3)環境に配慮した食生活の推進	③環境に配慮した食育の推進	環境政策課	フードマイレージや食品ロスは地球温暖化問題の一因であるとともに、経済的な問題でもあるため、それらの削減を図る	15	拡大	引き続き、地産地消の推進を行うためエコノートの配布を行うとともに、関心度が高くなるような働きかけを行っていきます。 取組率：現状 60% 目標 78% 【再掲】	夏休み前に市立小学5年生全員にエコノートを配布しました。配布後に行ったアンケートでは、「エコノートを見て何かに取り組んだ」と回答した児童の割合は59%でした。 取組率：59%	C	現状の取組率よりも低い結果となりました。エコノートの取組については学校や先生毎の指導の影響により取り組みへの関心度が大きく異なります。	環境政策課より、学校側へ関心度を大きくしてもらえるような案内等の働きかけを行っていきます。	引き続き、地産地消の推進を行うためエコノートの配布を行うとともに、環境教育について包括連携事業者等と協力し、出前講座の案内を行うなど、関心度が高くなるような働きかけを行っていきます。 取組率 現状：59% 目標：87%
		④有効利用による持続可能な生産と消費	農林水産課	規格外農林水産物の地産地消推進協力店等での扱い量の増加	86	新規	廃棄されてしまう規格外地元産農水産物を有効利用するため、地産地消推進店と生産者を繋ぎ、取扱量増加を目指します。地産地消推進店・生産者への意向確認調査を実施します。実施店 目標：1店	地産地消推進店に規格外野菜・クロダイの活用についての意向調査を実施したが、利用希望店は少ない結果であった。 実施店：1店（規格外の米粉の活用）	B	地産地消推進店への意向調査は実施したが、生産者の意向調査ができなかった。	生産者への意向確認を実施し、生産者と販売者を繋げるよう取り組みます。	廃棄されてしまう規格外地元産農水産物を有効利用するため、地産地消推進店と生産者を繋ぎ、取扱量増加を目指します。生産者への意向確認調査を実施します。実施店 目標：1店
	(4)食文化の継承活動の推進	①保育園・学校給食献立の活用	こども保育課	年間を通した伝統食や行事食の実施	87	拡大	市立保育園の年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を給食およびおやつで提供します。 提供回数 現状：年26回 目標：年27回	食育計画に基づき、行事食・季節の食事を給食およびおやつで提供をしました。 提供回数：年28回	A	目標回数を達成	引き続き、年間計画に基づき行事食・季節の食事を提供します。	市立保育園の年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を給食およびおやつで提供します。 提供回数 現状：年28回 目標：年25回
			学校給食センター 学校給食課		88	継続	年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を計画的に提供します。提供した際は、料理の紹介をします。 提供回数 現状：年11回 目標：年11回	年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を計画的に提供しました。 提供回数：11回	A	計画的に提供し、目標を達成した。	旬の食材や季節感のある献立を計画する。	年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を計画的に提供します。提供した際は、料理の紹介をします。 提供回数 現状：年11回 目標：年11回
		②地域での取り組み	農林水産課	地域の伝統的な食文化の普及啓発	89	新規	地域の伝承料理や特産品の啓発を、市内の小中高生、市民を対象に実施します。 現状：8回 目標：8回以上	太巻き寿司講習会を、市内中学・高校および公民館で実施しました。 実施回数：7回	B	前年依頼のあった小学校からの依頼がなく、目標回数は未達成	学校や公民館からの依頼の他、市民・親子を対象とした講習会を開催します。	地域の伝承料理や特産品の啓発を、市内の小中高生、市民を対象に実施します。 現状：7回 目標：8回以上
	(4)食文化の継承活動の推進	②地域での取り組み	生涯学習課 公民館	地域の伝統的な和食文化の継承、普及啓発	90	拡大	幅広い世代を対象に海苔すき体験、アサリやノリなど特産物を使用した料理教室、和食に拘った料理教室、太巻き寿司作り講習会などを開催します。 また、文化祭では太巻き寿司の展示など、積極的な普及啓発に努めます。 実施回数 現状：2回 目標：9回	海苔すき体験や田植え等を通して和食文化を考える講座等を開催することができました。 実施回数：8回	B	地域の伝統を知る体験や、太巻き寿司づくり講習会を実施することができましたが、目標回数は未達成。	各公民館で、地域と相談しながら、必要に応じて講習会等の開催に努めます。	幅広い世代を対象に海苔すき体験、アサリやノリなど特産物を使用した料理教室、和食に拘った料理教室、太巻き寿司作り講習会などを開催します。 また、文化祭では太巻き寿司の展示など、積極的な普及啓発に努めます。 実施回数 現状：8回 目標：11回
				広く市民への情報提供	24	拡大	市内全ての公民館で、公民館だより等に郷土料理の特集を組むなど積極的に掲載するとともに、文化祭では伝統食や和食、郷土料理に関する展示コーナーを設け、情報提供に努めます。 情報発信回数 現状：年9回 目標：年1回以上 【再掲】	3つの公民館において、公民館だより等に地産地消の料理メニューについての掲載を行いました。 情報発信回数：年7回	C	市内全ての公民館での十分な情報発信ができませんでした。	市内全ての公民館で、郷土料理等に親しみが持てるような情報提供ができるように努めます。	市内全ての公民館で、公民館だより等に郷土料理の特集を組むなど積極的に掲載するとともに、文化祭では伝統食や和食、郷土料理に関する展示コーナーを設け、情報提供に努めます。 情報発信回数 現状：年7回 目標：年1回以上

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和６年度取組内容及び目標	令和６年度取組結果	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和６年度実施結果に基づく改善内容	令和７年度取組内容及び目標
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
４ 持続可能な食を支える食育の推進	(4)食文化の継承活動の推進	③伝統食や和食・郷土料理に関する情報提供	こども保育課	伝統食・行事食等の展示及情報提供の実施	91	拡大	市立保育園は引き続き、食育計画に基づき、伝統食や行事食を提供した際に、保護者へ給食展示やレシピ等の情報提供を実施します。 情報提供回数 現状：年26回 目標：年23回	食育計画に基づき、行事食・季節の食事を給食やおやつで提供し、給食展示等を行いました。 情報提供回数：年28回	A	目標回数を達成	伝統的な食事と行事食は重なることも多いため、展示の際に、掲示や配信を活用して情報提供を行います。	市立保育園は引き続き、食育計画に基づき、伝統食や行事食を提供した際に、保護者へ給食展示やレシピ等の情報提供を実施します。 情報提供回数 現状：年28回 目標：年24回

木更津市食育推進アクションプラン進行管理票
(令和6年度)
(協議会委員団体)

木更津市食育計画のキャッチフレーズ
～いきる つながる 食育のチカラ～

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和6年度）・取組計画（令和7年度）

団体・事業所名 大一青果㈱

協議会委員名 碓井 宏

目標	取組内容	区分	令和6年度取組内容	取組の実施状況（R6）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和6年度実施結果に 基づく改善内容	令和7年度取組内容
持続可能な食を支える	新規就農者等の生産力強化のため支援する	継続	木更津市内の農家をサポートする。	試験的運用の開始。 作業機械の導入支援	C	新規就農者の獲得に時間を要する	関係機関の連携を検討する	就農者への継続的な支援
地産地消の推進	地元生産物の情報発信のサポート	継続	市場視察や農場視察への協力を行う。 現状：随時 目標：随時	Instagramによる情報の発信を随時行った。	A	地元生産物等の情報を現地を回りながら、発信した。	現地回りを増やし、産地からの発信を実施する。	商品と同時に産地情報を発信する。 現状：随時 目標：随時
	近在野菜を使用する取り組み	拡大	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施します。生産者に協力を依頼します。 現状：1回 目標：1回	取り組みの協力を実施した。	A	目標を達成	給食センターと協議する。	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施します。生産者に協力を依頼します。 現状：1回 目標：1回
	小学生等の市場見学受入れ	拡大	小学生等の市場見学を受け入れ、市場の役割、近在野菜の生産等への理解を深めます。 現状：2校（団体） 目標：2校（団体）以上	小学校・保育園等の受け入れを随時行った。 受入れ団体数：5団体	A	目標を達成	受入れ体制を整え、マニュアル化する。	受入れを拡大できる体制として、担当者の配置をする。 現状：5団体 目標：2団体以上
学校における給食の推進	学校給食センターとの連携を図り、生産者等の情報提供依頼	新規	生産者へ協力を依頼し、給食だよりへの情報を提供します。 現状：随時 目標：随時	生産者への依頼と情報提供を随時実施した。	A	目標を達成	給食センターと協議する。	生産者へ協力を依頼し、給食だよりへの情報を提供します。 現状：随時 目標：随時

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和6年度）・取組計画（令和7年度）

団体・事業所名 株式会社木更津魚市場

協議会委員名 石井 美夏

目標	取組内容	区分	令和6年度取組内容	取組の実施状況（R6）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和6年度実施結果に 基づく改善内容	令和7年度取組内容
小中学生に食の流通に興味を持って頂き食育の推進を図りたい	市場見学をして頂き、魚市場としての役割を認知してもらう、取り扱う地域海産物や食材等の食育に努める	継続	市場見学を通して魚市場の役割を知って頂き興味を持ってもらう。地域海産物などを自社の資料をもとに分かりやすく説明し、食育に努めます。市場見学の情報を積極的に発信。 現状 2校 目標 3校以上	魚市場の1日の流れや仕組み、地域で捕れる魚などを独自の資料をもとに小学生、保育園児でもわかりやすく説明をしました。 ●八幡台小学校 ●桜井保育園 ●請西小学校	A	目標達成 昨年に引き続き保育園が見学に来てくれた事は良かった。園児にも分かりやすく説明出来ました。	幅広い年齢層に働きかけ、市場の役割や仕組みをより一層知って頂き、食の流通をきっかけに魚に興味を持って頂けるように取り組む。	市場見学を通して魚市場の役割を知って頂き興味を持ってもらう。地域海産物などを自社の資料をもとに分かりやすく説明し、食育に努めます。市場見学の情報を積極的に発信。 現状 3校 目標 4校以上
地産地消を推進し、地域海産物に関する情報を提供し、興味を持って頂く	近隣の市内公共施設で地域海産物を活用した料理教室	継続	料理教室を通して魚市場の役割を知って頂き興味を持ってもらう。旬の地域海産物の情報を提供し、食育に努めます。料理教室の情報を積極的に発信。 現状 1回 目標 2回以上	今期は思うように進みませんでした。（中郷公民館の担当者の方も不在になってしまった為）	C	目標未達成	参加して頂ける公民館等にご協力をお願いしたい。	料理教室を通して魚市場の役割を知って頂き興味を持ってもらう。旬の地域海産物の情報を提供し、食育に努めます。料理教室の情報を積極的に発信。 現状 0回 目標 2回以上
地産地消の推進	魚市場から学校給食への地産地消の食材御提供する	継続	安定的に食材を納める事が出来るようルートの確保 献立のニーズに合わせ数量を確保 現状：1校 目標：100%実施	まずは確実に1校での取り組みを成功させ、年4回ほど学校給食に合わせた提供が出来た。 ●金田小学校	A	目標達成 小学校の規格サイズと数量の確保が出来ました。	献立表が2カ月前に作成の都合上、まだ冷凍の海外物に頼っている為、将来的には目標の地域海産物で提供したい。	学校給食センターへ提供を実現させ、まずは小学校給食の提供を増やし、更には中学校給食へも提供を広げたい。 現状：1校 目標：5校

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和6年度）・取組計画（令和7年度）

団体・事業所名 木更津市農業協同組合

協議会委員名 鈴木 正則

目標	取組内容	区分	令和6年度取組内容	取組の実施状況（R6）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和6年度実施結果に 基づく改善内容	令和7年度取組内容
地産地消の推進	施設見学受入れ （集荷場） （予冷施設）	継続	小学校（中郷小）を対象に、集荷場・予冷施設の見学を受け入れ、農業への理解を図る 現状 1校 目標 1校	中郷小学校を対象に事務所、倉庫、集荷場、予冷施設等の見学を受け入れ、農業への理解を図った。 実施 1校	A	予定通り受入れをし農業への理解を図ることができた。	今後も継続して受入れを行う。	小学校（中郷小）を対象に、集荷場・予冷施設の見学を受け入れ、農業への理解を図る 現状 1校 目標 1校
	栽培講習会	継続	夏野菜苗即売会時に来場者を対象とする夏野菜栽培講習会を開催し、地元農業への理解を図る 現状： 1回 目標： 1回	イベント開催時に野菜の栽培講習会を開催し、農業に対する関心が高められた。 実施 2回	A	講習会を開催することにより、一般の方たちにも農業への関心が高められた。	今後も継続して実施する。	イベント開催時に野菜の栽培講習会を開催し、農業に対する関心高める。 現状： 2回 目標： 2回
	料理教室の開催	継続	JA組合員等を対象としたJA女性部主催の地元農産物を活用した料理教室を開催する。 現状： 4回 目標： 4回	JA女性部主催による地元農産物を活用した料理教室を開催 実施回数 4回	A	参加者60名により盛況であった。	チラシの活用により参加者の増加。	JA組合員等を対象としたJA女性部主催の地元農産物を活用した料理教室を開催する。 現状： 4回 目標： 4回
	農業体験	継続	小学校児童を対象にトウモロコシ栽培体験を開催し、地元農業への理解を図る。 現状： 1回 目標： 1回	中郷小学校6年生を対象にトウモロコシの栽培体験を開催し、農業に対する関心が高められた。 実施 1回	A	開催することにより、小学生にも農業への関心が高められた。	今後も継続して実施する。	小学校を対象に栽培体験を開催し、農業への理解を図る。 現状 1校 目標 1校

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和6年度）・取組計画（令和7年度）

団体・事業所名 (株) ごはんクリエイト

協議会委員名 野口 利一

目標	取組内容	区分	令和6年度取組内容	取組の実施状況（R6）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和6年度実施結果に 基づく改善内容	令和7年度取組内容
地産地消の推進	市内飲食店での取組みとして年度毎に目標を決め取り組む	新規	木更津産の食材を市内飲食店に周知する。 現状：木更津版クラムチャウダーのレシピや食材ルート含めルール作成済み 目標：市内各店と共有し、5店舗以上の参加を募る	クラムチャウダーも販売を開始。 5月にフェア実施。	A	木更津産あさりでクラムチャウダーを作成できたこと。 販売し、フェア開始したので、潮干狩りを合わせ周知できた。	木更津産あさが安定的に入ることが条件となるので、他の食材でもこのような商品を開発し、木更津食材を活用して魅力を発信していきます。	市内の食材や生産者と飲食店やホテルを繋ぐサービスを開始する。 参加し得る生産者と飲食店と協議中。 7年度は周知し、8年度にサービス開始予定。

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和6年度）・取組計画（令和7年度）

団体・事業所名 君津木更津医師会

協議会委員名 天野 隆臣

目標	取組内容	区分	令和6年度取組内容	取組の実施状況（R6）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和6年度実施結果に 基づく改善内容	令和7年度取組内容
地元小中学校に向けた食育の推進	学校医活動を通じ食育を推進していく	新規	学校医、学校職員、保護者の集まりを通じ必ず朝食をとり、登校することを周知していく。 現状：会員への周知 目標：会員への周知	学校医、学校職員、保護者の集まりを通じ必ず朝食をとり、登校することを周知する取組ができた。	B		継続的に取り組む	学校医、学校職員、保護者の集まりを通じ必ず朝食をとり、登校することを周知していく。 現状：会員への周知 目標：会員への周知

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和6年度）・取組計画（令和7年度）

団体・事業所名

君津保健所管内栄養士協議会

協議会委員名

石原 和嘉子

目標	取組内容	区分	令和6年度取組内容	取組の実施状況（R6）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和6年度実施結果に 基づく改善内容	令和7年度取組内容
栄養バランスに優れた食生活実践の推進	会員の資質向上を目的とした研修会の開催	継続	対象者への効果的な栄養指導の実施や食育の推進を図るため、当団体会員の資質向上を目的とした研修会を開催します。 現状：年2回 目標：年3回	対象者への効果的な栄養指導の実施と食育の推進を図るため、当団体会員の資質向上を目的とした研修会（外部講師による講演会等）を開催しました。 研修会開催回数：年3回	A	研修会開催回数の達成	研修会を講義だけでなく、実習を増やしたい。	対象者への効果的な栄養指導の実施や食育の推進を図るため、当団体会員の資質向上を目的とした研修会を開催します。 現状：年3回 目標：年3回
	地場産物を使用した栄養バランスの良い料理レシピの紹介	新規	地場産物を使用した料理レシピと栄養成分を載せたリーフを作成し、農協直売所等に配置します。 現状：なし 目標：年2回	地場産物を使用した料理レシピと栄養成分を載せたリーフを作成し、農協直売所等に配置しました。 配置回数：年2回	A	リーフ配置回数の達成	リーフ設置場所を増設したい。	地場産物を使用した料理レシピと栄養成分を載せたリーフを作成し、農協直売所等に配置します。 現状：年2回 目標：年2回

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和6年度）・取組計画（令和7年度）

団体・事業所名 木更津市教育研究会・学校給食部会

協議会委員名 畑沢小学校 岩埜理恵子

目標	取組内容	区分	令和6年度取組内容	取組の実施状況（R6）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和6年度実施結果に 基づく改善内容	令和7年度取組内容
各小中学校における計画的な食育の推進	食育の全体指導計画を把握し、計画的に実施します	継続	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。 提供施設数 現状：8調理施設 目標：9調理施設	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行いました。 提供施設数 ： 11調理施設	A	学年や月ごとの食に関する指導内容に合わせ、地場産物の活用や行事にちなんだ食材を使用した給食の提供をした。	年間における食育指導及び献立作成について示し、教育活動と関連付けた食育指導と給食に取り組む。	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。 提供施設数 現状：11調理施設 目標：11調理施設
地産地消の食材を取り入れた献立の充実	地元で生産された食材の積極的な使用に努めます	継続	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用して情報発信する。 〔地元生産食材使用率〕 現状：74.2% 目標：85%以上	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用して情報発信しました。 地元生産食材使用率 ： 71.2%	B	天候等により予定していた食材の産地の納品がなかった。物価高騰により、地元産より安価な国産を購入した。	協力関係者と連携し、市場の流通状況や産地情報を意識した献立作成に取り組む。	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用して情報発信する。 〔地元生産食材使用率〕 現状：71.2% 目標：85%以上
食育に関する情報の提供	保護者へ食育に関する情報発信の充実を図ります	継続	旬な話題を給食だより臨時号等で発信します。 〔情報発信回数〕現状：年2回以上 目標：年2回以上	旬な話題を給食だより臨時号等で発信しました。 情報発信回数 ： 年3回	A	ストローレスや防災給食、食育動画配信など食に関する旬な情報を発信した。	新たな取組や食育に関する情報など学校給食と関連付けた話題を保護者に向けて発信する。	新たな取組や食に関する旬な話題を給食だより臨時号等で発信します。 〔情報発信回数〕現状：年2回以上 目標：年2回以上
食育に対する意識高揚と資質の向上	食育に関する研修を受講します	継続	食育に関する研修を積極的に受講し、教職員へ発信する。 現状：年2回以上 目標：年2回以上	食育に関する研修を積極的に受講し、教職員へ発信しました。 また自主的研修にも参加しました。 年2回以上	A	積極的に研修を受講し、より高度な知識を習得することで栄養士としての専門性を生かした発信ができた。	情報を教職員と共有することで、学校全体で食育に取り組む。	食育に関する研修を積極的に受講し、教職員へ発信する。 現状：年2回以上 目標：年2回以上

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和6年度）・取組計画（令和7年度）

団体・事業所名 小中学校栄養士代表

協議会委員名 安藤 久美

目標	取組内容	区分	令和6年度取組内容	取組の実施状況（R6）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和6年度実施結果に 基づく改善内容	令和7年度取組内容
各小中学校における計画的な食育の推進	食育の全体指導計画を把握し、計画的に実施します	継続	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。 提供施設数 現状：8調理施設 目標：9調理施設	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行いました。 提供施設数 : 11調理施設	A	学年や月ごとの食に関する指導内容に合わせて、地場産物の活用や行事にちなんだ食材を使用した給食の提供をした。	年間における食育指導及び献立作成について示し、教育活動と関連付けた食育指導と給食に取り組む。	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。 提供施設数 現状：11調理施設 目標：11調理施設
地産地消の食材を取り入れた献立の充実	地元で生産された食材の積極的な使用に努めます	継続	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用して情報発信する。 〔地元生産食材使用率〕 現状：74.2 % 目標：85%以上	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用して情報発信しました。 地元生産食材使用率 : 71.2%	B	天候等により予定していた食材の産地の納品がなかった。物価高騰により、地元産より安価な国産を購入した。	協力関係者と連携し、市場の流通状況や産地情報を意識した献立作成に取り組む。	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用して情報発信する。 〔地元生産食材使用率〕 現状：71.2 % 目標：85%以上
食育に関する情報の提供	保護者へ食育に関する情報発信の充実を図ります	継続	旬な話題を給食だより臨時号等で発信します。 〔情報発信回数〕 現状：年2回以上 目標：年2回以上	旬な話題を給食だより臨時号等で発信しました。 情報発信回数 : 年3回	A	ストローレスや防災給食、食育動画配信など食に関する旬な情報を発信した。	新たな取組や食育に関する情報など学校給食と関連付けた話題を保護者に向けて発信する。	新たな取組や食に関する旬な話題を給食だより臨時号等で発信します。 〔情報発信回数〕 現状：年2回以上 目標：年2回以上
食育に対する意識高揚と資質の向上	食育に関する研修を受講します	継続	食育に関する研修を積極的に受講し、教職員へ発信する。 現状：年2回以上 目標：年2回以上	食育に関する研修を積極的に受講し、教職員へ発信しました。 また自主的研修にも参加しました。 年2回以上	A	積極的に研修を受講し、より高度な知識を習得することで栄養士としての専門性を生かした発信ができた。	情報を教職員と共有することで、学校全体で食育に取り組む。	食育に関する研修を積極的に受講し、教職員へ発信する。 現状：年2回以上 目標：年2回以上

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和6年度）・取組計画（令和7年度）

団体・事業所名 木更津市社会福祉協議会

協議会委員名 上野 順子

目標	取組内容	区分	令和6年度取組内容	取組の実施状況（R6）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和6年度実施結果に 基づく改善内容	令和7年度取組内容
食品ロス削減の推進	食品ロスの削減を広く訴え、受け皿としてのフードバンクの充実を図る	継続	社協広報紙と民生委員の定例会などにて、フードバンクの紹介と食品ロス削減を結びつけたPRを展開する。 食品ロス削減にあたり、フードバンクで集まった食材は年1回開催するフードパントリーにて必要な方に配布する。 PRの実施 現状：1回 目標：1回	社協広報紙「福祉きさらづ第172号」に食品ロスの削減及びフードバンクの紹介記事を掲載した。（41,000部） 令和6年度フードバンクで集まった食材は156件・3,134.15Kg フードバンク利用は、104件・722.3Kg 今年度はマックスバリュ2店舗の協力により、16回・93.4Kgの職員を提供いただいた。また、今年度は共同募金会の助成金を活用し食材を確保したり、市の危機管理等から賞味期限間近の食材提供分も含み、フードパントリーを2月1日に開催実施し、148世帯へ食料を配布。食品ロス削減の取組みを実施した。	A	社協広報「福祉きさらづ」により食品ロス削減について市民へ広く周知出来た。 市民や企業からの食材がフードバンクに多く集まった。これらの食材をフードパントリーに活用し、食品ロス削減に繋がった。	継続実施	社協広報紙及び民生委員の定例会などにて、フードバンクの紹介と食品ロス削減を結びつけたPRを展開する。 食品ロス削減にあたり、フードバンクで集まった食材は年1回開催するフードパントリーにて必要な方に配布する。 スーパーベシアからノベルティグッズや賞味期限近い食材の提供をしたいとの申し出があり、月1回実施する予定。
	学校給食センターと連携し、給食中止による食品ロスの削減を図る	継続	学校給食センターと連携し、給食中止により余った食材を有効的にこども食堂へ提供することにより食品ロスの削減を図る。 提供こども食堂の数 現状：13ヶ所 目標：13力所	休校等で、学校給食中止により給食センターから食材4,367点を受入れ、市内13ヶ所のこども食堂へ提供した。	A	学校給食センターからの食材を子ども食堂へ提供したことで食品ロスの削減になった。	継続実施	学校給食センターと連携し、学校給食の中止により余った食材を有効的にこども食堂へ提供することにより食品ロスの削減を図る。

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和6年度）・取組計画（令和7年度）

団体・事業所名 木更津市食生活改善サポーターの会

協議会委員名 北原 美奈子

目標	取組内容	区分	令和6年度取組内容	取組の実施状況（R6）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和6年度実施結果に 基づく改善内容	令和7年度取組内容
食文化の継承活動の推進	地域の伝統的な食文化の普及啓発	継続	地域の伝承料理や特産品の啓発を、市内小中高校生、市民を対象に年8回以上実施します。 現状：8回実施 目標：9回以上実施	学校や公民館から依頼のあった、地域の伝承料理や特産品を使った講習会を市内中学・高校生、市民を対象に7回実施しました。	B	前年依頼のあった小学校からの依頼がなく、目標回数は未達成	学校や公民館からの依頼の他、市民を対象とした講習会の開催を実施する。	地域の伝承料理や特産品の啓発を、市内小中高校生、市民を対象に実施します。また、市主催の地域の伝統食（太巻き寿司）講習会を開催します。 現状：7回実施 目標：9回以上実施
ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	健全な食生活を実践できる人の増加を目指し、健康推進課事業と連動した啓発活動を行う	継続	乳幼児健康診査等の会場で健診に来場した保護者を対象に、朝食摂取についてのリーフレットを配布します。 現状：28回実施 目標：30回以上（800名前後）実施	若年期健康診査（対象：30歳代の市民の方）及び乳児健康診査会場での朝食についてのリーフレット配布を21回（729名）実施しました。	B	目標回数は70%の達成だったが、目標人数の90%を達成したため	マンパワーが課題であり、実施しやすい日程を考慮しつつ、引き続き、健診等の不特定多数の住民へアプローチできる場を活用し、若年世代・子育て世代への啓発活動を行う。	乳幼児健康診査等の会場で健診に来場した保護者を対象に、朝食摂取についてのリーフレットを配布します。 現状：21回実施 目標：30回以上（800名前後）実施
	料理教室を通して栄養バランスのよい食の普及啓発	継続	公民館等で市民を対象とした料理教室（講習会）を開催します。 現状：5回実施 目標：5回以上実施	公民館等で市民を対象とした料理教室（講習会）を5回開催しました。	A	目標回数を達成	依頼のない公民館については、サポーターから公民館へ講習会の提案を行う。	公民館等で市民を対象とした料理教室（講習会）を開催します。 現状：5回実施 目標：5回以上実施
地産地消の推進	地元農産物の情報提供	継続	地元農産物のレシピを作成・紹介します。 現状：15回実施 目標：10回以上	地元農産物のレシピを7回紹介しました。 イオンモール木更津 2回（展示398人、配布192部） ベシシア木更津金田 1回（配架326部） 広報ささらづ 4回（1回あたり37,200部）	C	目標回数・人数の70%を達成	動画作成がなかったため実施回数が減少したが、今後は市内イベント等の機会を活用し、レシピ配布等の啓発活動を行う。	地元農産物のレシピを作成・紹介します。 現状：7回実施 目標：10回以上

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和6年度）・取組計画（令和7年度）

団体・事業所名

木更津市シニアクラブ連合会

協議会委員名

高安 清美

目標	取組内容	区分	令和6年度取組内容	取組の実施状況（R6）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和6年度実施結果に 基づく改善内容	令和7年度取組内容
健康で壮年期を過ごす	毎日、なるべく20品目を地元農産物で食するよう啓発を行う	継続	18のシニアクラブ全てで食についての取組みを行うよう、連合会理事会等で啓発は行います。 全シニアクラブの定例会で啓発を実施する。 現状：1/3 目標：100%	月1回の例会を通して、啓発をお願いしているが1/3していない。 実施：1/3	C	目標未達成	共に年齢を重ねていくことをもう少し意識してほしいので、もっと強く伝えていくつもりである。	18のシニアクラブ全てで食についての取組みを行うよう、連合会理事会等で啓発は行います。 全シニアクラブの定例会で啓発を実施する。 現状：1/3 目標：100%